

アグリノート菜園 **プラス**

【おうち栽培支援】



ショウガ栽培情報 (プランター)

No.5

気象台は8月1日、北陸地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。今年の梅雨は降雨が多く梅雨らしく経過しました。梅雨明け後は、夏本番となり高温が予想されます。ショウガは乾燥には弱く、また、害虫の発生も増えてくるので注意が必要です。水分が不足すると、ショウガの葉の外側が黄褐色になり外側が枯れてしまうことがあります。ショウガ作りも後半戦、下記のポイントを参考に頑張りましょう。

ショウガプランター栽培のポイント

8月下旬の生育の目安

- 草丈：50～70cm
- 茎数：5～7本



葉色は緑色～やや濃緑色

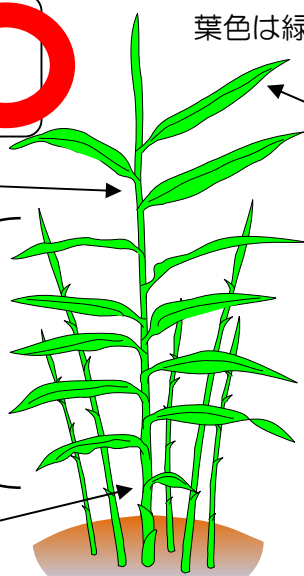
【図は、2次茎以降の葉を省略しています。】

葉はやや上向き

節間は
ほぼ等間隔

地上部の葉は健全で、
順次新しい茎が出て
いる

茎は太く
しっかりしている



土寄せにより、塊茎は地中に隠れている

草丈が低い

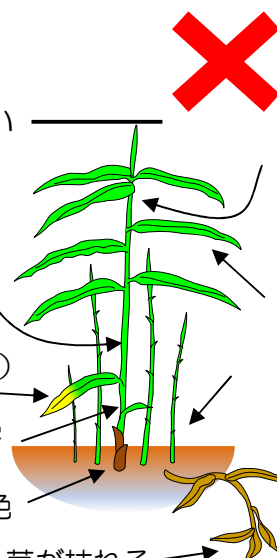
葉がない
(風害)

葉先の枯れ
(水不足・高温)

アワノメイガの食害

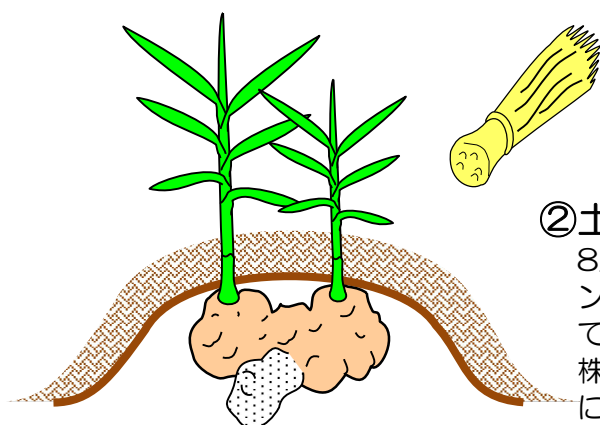
株元が褐色

茎が枯れる



① 灌水

灌水の間隔の長短は土壌保水や日当たりの良し悪しなどにより異なります。保水力の弱い砂地などでは間隔を短くします。灌水はカンカン照りの日中は避けて、午前中は9時ごろまでに、午後は5時以降にするように心がけましょう。



② 土寄せ・敷きワラ

8月から9月頃。この時期にすべての地下茎が横にグングンと太ります。しかし土が流れたり、雨で流されたりしてショウガの顔が見えると、そのショウガは太りません。株元を見てショウガの顔が見えてきたところは、こまめに土寄せをしましょう。

